



# すたが

苅田町青少年育成町民会議だより



子ども  
フェスティバル  
開催

心豊かで  
たくましいで



青少年の育成を目指しましょう



紙飛行機コンテスト時



家庭シンポジウム時





# 紙飛行機作って遊んで楽しかったよ



## 伝承工作と遊戯大会

平成13年11月11日

総合体育館アリーナ

健全育成部会・育成会連合会共催



11月11日 荻田町総合体育館で伝承工作遊び（紙飛行機・紙風船・かぶと・ブーメラン・びっくり箱）などの紙工作に挑戦しました。参加者約90名、町民会議役員と育成会ジュニアリーダーで指導しました。

初めは、各自思い思いに作っていましたが、参加者の中に紙飛行機で県大会に出場した友達の作品に感心しながら、教えてもらっていました。完成した紙飛行機は、ステージから「滞空時間の長さ」・「より遠くに飛んだ距離」を競うコンテストを行い、体育館に大きな歓声が上がりました。

上位入賞者は次のとおりです。  
長く飛んだで賞

- 1位 村山 亮太
  - 2位 谷村けんご
  - 3位 井森成太郎
- 遠くまで飛んだで賞

- 1位 谷村けんご
  - 2位 衛藤 彩
  - 3位 松村 拓弥
- ナイススタイル賞

- 1位 徳富 りえ
- 2位 吉武 巧
- 3位 塚崎 雄介

※健全育成ポスターの表彰式入選者二十八名中二十一名の出席。



## 荻田町ふれあいマラソン大会

平成14年2月3日

パンジープラザ、スタートゴール

町民会議は、後援ということでは監視に当たり応援しました。

天候も良く3・5・7kmに分かれ各自の体力に合わせて頑張り盛り上げ、観衆から拍手で迎えられました。これからも挑戦してね。



# 家庭シンポジウム

## 「完全学校週五日制」

(休みになる土曜日をどのように過ごしますか。)



平成13年11月23日  
三原文化会館1階大ホール  
家庭部会主催

パネラー(敬称略)

○南原小6年 村上あつ子

「2日間の休みを有意義に」

○与原小6年 末廣 葉月

「週休2日私がしたいこと」

○片島小6年 渡邊 功治

「心と体をリフレッシュする」

○荏田中3年 佐々木 剛

「遊びを通じて交流を深める」

○新津中2年 鈴木 崇文

「土曜どうすごすか」

○荏田工高2年 米倉 和幸

「完全学校週5日制と土曜日の過ごし方」

○白川小PTA 森永 進

「家庭奉仕と社会奉仕」

○荏田中PTA 宮崎 由美

「子どもの休日・親の休日」

助言者 京築教育事務所  
主任社会主事 刀根 伸



今回のシンポジウムのテーマは、これまでの経験等を発表し、話し合うテーマとは異なり、まだ経験がなく、これから実施される「完全学校週五日制」についてでした。

発表者からは、土・日曜日の過ごし方について、家の事・家族とのふれあい・リフレッシュしたい・ダラダラしない生活を送りたい等しつかりした考えを持つて五日制を迎えようとしている発表がありました。

フロアーとの意見交換では、子ども達の生活態度の心配や、育成会活動、神幸祭の飾り花作りを子ども会と一緒にやった、など実践報告もあり有意義なシンポジウムを持つことができました。

私達地域や家庭が、社会教育(学校以外の教育)を担うものとして《子ども達が、人の役に立っているという実感》《方向性が見出せない子ども達との係わり方》など果たす役割の大きさを感じました。

それと同時に子ども達や大人が「何かしてみたい」と思った時に、どのような活動があるか?どのようにすればいいのか?どこに行けばいいのか?など知ることができ、それぞれの活動をコーディネートする窓口があれば、一歩踏み出せ、共に係わることができるのではないかと思います。

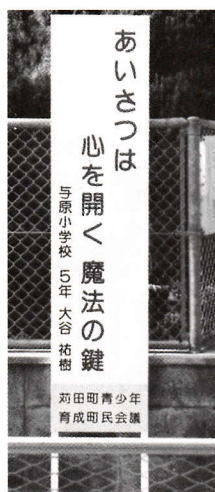
いよいよ実施される平成十四年四月より「完全学校週五日制」が地域・家庭の在り方や役割を振り返り考える良い機会となる事を願ってやみません。



### 「家庭の日」・「オアシス運動」

(標語の小看板設置)

家庭部会では、「家庭の日」・「オアシス運動」各学校より標語の募集をして各学校の入選者の中から一名の標語看板を学校内に設置しています。



### 築いていますか 暖かな家庭



第3 日曜日は 家庭の日

※「家庭の日」・オアシス運動(書道・ポスター・作文・標語)の表彰式入選者九十一名中四十六名の出席。



# 補導環境部会・生徒指導研修部会 合同研修会



平成13年12月13日(木)

三原文化会館1階大ホール

町民会議では、補導環境部会と生徒指導研修部会との合同研修会を開いています。

今年度は、各小中学校のPTAの方々にも参加していただき、約五十名の参加で青少年の諸問題について研修しました。

一、映画「親がかわれば、子もかわる」

二、北九州市立北九州壮年相談センター少年相談員・伊藤操先生より「現代っ子の心の悩み・その行動」講話されました。

## 地域の教育力の回復

青少年の現状を見れば、やはり地域の教育が低下したことが問題などだろう。社会全体の仕組みが大きく変化したなかで地域の教育力の回復を考えても無理なことだと思う。学校週五日制完全実施に代表されるように、これまで学校教育が地域の青少年育成に果たしてきた役割は大であるが、最近では、学校と地域の新しい関係づくりが進んでいる。青少年活動に期待されるところが大きい。そこで補導環境部会では、他都市の優れた活動状況を視察したり生徒指導研修部会と合同研修会を行っています。

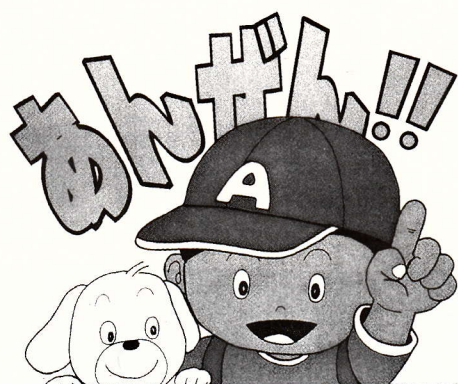


## こども110番設置の協力を

荏田町教育委員会では、平成9年度よりこども110番設置の協力を、荏田町PTA連絡協議会と連携し設置運動を進めています。

このシール(写真)は、児童・生徒の登・下校中不審者から身を守る為に近くの家に助けを求める案内板です。

町内の子どもの安全に注意をしていただくとともに、設置協力をしていただける方は、近くの小学校・中学校に連絡して下さい。



こども  
**110** 番  
のいえ

荏田町教育委員会  
荏田町PTA連絡協議会  
行橋警察署

いいこに  
子どものことで困ったら **436-1152**

●相談日時 毎週月・水・木・金曜日  
(祝日を除く)

午前9時～午後4時30分

※相談は電話相談、面接相談のどちら  
かでも受け付けます。

※秘密は固く守ります。

青少年教育相談室(教育委員会内)





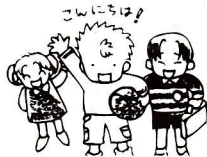




# お父さん、出番です！

もう「子育てしない男を父とは呼ばない」とは言わせない




Q & A  
すこやか

むかしから父親は一家の大黒柱と言われてきました。ところが最近では、家庭での父親の存在感がうすくなりつつあるということが言われています。しかし、時代が変わっても、子どもはいつでも自分の父親に期待するものをもっています。

さて、今のあなたはどんな父親でしょうか。「はい」の数でチェックしてみましょう。

<p>休みの日には、子どもとふれあう（いっしょに遊ぶ、物を作る、会話をする等）時間をもつようにしている。</p> 	<p>子どものよいところを認めて、ほめたり、励ましたりしている。</p> 	<p>時々子どもといっしょにお風呂に入ったりすることがある。</p> 	<p>できるだけ家族といっしょに食事をするようにしている。</p> 	<p>わが子の友だちについて関心がある。</p> 
<p>自分の仕事について子どもに話したことがある。</p> 	<p>子どもが何か悪いことをした時は、厳しく叱っている。</p> 	<p>将来や進路について子どもと話し合ったことがある。</p> 	<p>学校の授業参観や保護者会親子ふれあい集会等に参加したことがある。</p> 	<p>学校の勉強について気にかけている。</p> 
<p>子どもの前では夫婦げんかをしないようにしている。</p> 	<p>子育てについて夫婦の間で積極的に話し合っている。</p> 	<p>子育ての中には「父親の出番」というものがあると思う。</p> 	<p>子育ては夫婦の協働作業だと思う。</p> 	<p>父親として積極的に子育てしていると自信をもって言える。</p> 

おつかれさまでした。さて、あなたの父親度は？ここでGTOの主人公鬼塚英吉さんに聞いてみました。

0 ～ 4	5 ～ 10	11 ～ 15
<p>おい、おい、もう少ししっかりと父親やったほうがいいかもな。父親がすることは仕事だけじゃないぜ。わが子が生まれたときの喜びを思い出して、質問の中で「はい」と言えなかったことの一つでいいんだよ。やってみろや。</p> 	<p>おう、けっこう父親してるじゃねえか。奥さんも子どももお前のことをきっと頼りにしているだろうな。今のお前にこれ以上望むのはムリかもしれねえが、子どもがお前に期待しているものが何かをいつもキャッチしておけや。</p> 	<p>お前、いい父親してるじゃねえか。生き生きと生活している子どもの顔が浮かんでくるようだぜ。父親としての責任を果たそうとしているお前には、さすがのオレも脱帽だよ。でも、ムリをしてストレスためんなよ。</p> 

上の資料は、平成12年度に勝山町の町民会議と学力向上推進・いじめ対策委員会で作成している中の一部です。



元気に走って寒さを吹き飛ばそう

# 荻田与原RC (ランニングクラブ)

ふ れ あ い

## インタビュー

17



今回は、与原小のグラウンドを寒い中元気に走っている荻田与原RC（ランニングクラブ）を紹介します。

荻田与原RCは、平成8年に発足した与原RCと平成11年に発足した荻田RCを平成12年に統合し、「荻田与原RC」として各大会に参加しています。

**目的** 陸上競技を通して心身ともに健康で明るく、豊かな心と体をもった子どもの育成を目指している。

### 活動場所

与原RC与原小学校グラウンド

毎週火曜日17時～19時

荻田RC荻田小学校グラウンド

毎週金曜日17時～19時

**部員数** 小学1年～6年生まで

荻田・与原で85名

**コーチ人数** 6名で指導しています。

**監督** 堀 正夫さん

**大会成績** 6月大会参加者 8名

女子 100m優勝

800m4位

400mリレー優勝

男子 800m3位・6位

400mリレー3位

800m3位

走り幅跳び6位

**目標** 全九州駅伝大会・虹の

松原西日本選抜駅伝大会に参加

し上位入賞を目指す。

部員は、北九州・行橋地区からも参加し楽しんで練習しています。年に2～3回総員1000名程度で焼き肉を行い親子ふれあいの場となっています。

## 青少年育成連合会

## 町内かるた大会

平成14年1月20日(日) (町内決勝戦)



平成14年2月3日(日)に築城町で京築ブロックのかるた大会に参加しました。緊張とはじめての体験で十枚以上のかるたを取る事が出来ず、くやしがる姿にたくましさを感じました。来年も頑張って参加してください。

### 感想

港育成会 小学5年 川原 萌

初めて、かるた大会に出ました。ほかのチームの子たちは、すぐくはやかったです。来年はもっと、もっと、練習して強くなって、また、かるた大会に出たいです。

- 1位 みなとアリエルズ
- 2位 スピード片島
- 3位 みなとミニーズ

## 編集後記

非行・いじめ・

少年犯罪

今、子ども達の世界は、大きく揺れ動いています。正しい道を歩み幸せな人生を願う子ども達を支え導いていくのは、大人の責任であり、社会の問題でもあります。「すこやか」編集委員会も、町民の皆さんと共に子ども達の健やかな成長を願って、いろいろな育成活動に取り組んでいます。敏感に反応する子ども達の姿を肌で感じつつ荻田町青少年育成町民会議では、町民の皆さんと声を掛け合いながら、少しでも育成活動の手助けが出来たらと願っております。

編集委員会 千原 勲

### 編集・発行

荻田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会

☎093・434・1111

(内線390)